三洋化成工業株式会社

２０２５年３月期　決算の概要

１.経営成績

（１）前期において『新中期経営計画２０２５』に沿って高吸水性樹脂事業(以下、ＳＡＰ事業)及び中国における生産事業からの撤退を決定しました。当期では、その決定に従って、三大雅精細化学品（南通）有限公司の持分譲渡を完了しＳＡＰ事業から完全撤退するなど高付加価値事業への転換を図る事業ポートフォリオ改革は着実に進捗しております。また、『ものづくり大改革』として取り組んでいる「サプライチェーン全体にわたるコスト削減および運転 資本の圧縮」についても、目標（中期経営計画３ヵ年における増分営業利益３０億円、運転資本圧縮５０億円）を上回るペースで進捗しております。

（２）連結売上高は、ＳＡＰ事業からの撤退の影響などにより、前期比１７２．５億円減（同１０．８％減）の１,４２２．５億円となりました。

（３）利益面では、中国における基礎化学品の増産による安価製品流入によりウレタン事業は低調となりましたが、先端半導体分野の好調に加え、高付加価値製品の拡販や構造改革による収益性改善などにより、連結営業利益は前期比３５．５億円増（同７２．７％増）の８４．３億円となりました。連結経常利益は前期比１４．８億円増（同１８．１％増）の９６．７億円、親会社株主に帰属する当期純利益は出資金評価損や事業構造改革費用を計上したことにより４１．５億円（前期は事業構造改革費用１２０.６億円の計上などにより８５．０億円の損失）となりました。

（４）なお、上記事業構造改革に関する損失は、前期から複数年度にわたり総額２００億円を見込んでおりましたが、前期に約１２０億円、当期は三大雅精細化学品（南通）有限公司の減損損失を含め約１２億円（当初見込みでは約４０億円）を計上した結果、現時点では、総額１７０億円以内に収まる見通しであります。

（単位：億円）

	連結			
	’24年3月期	’25年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
売上高	1,595.1	1,422.5	△ 172.5	△10.8
営業利益	48.8	84.3	35.5	72.7
営業利益率（%）	3.1	5.9	2.8	91.5
経常利益	81.8	96.7	14.8	18.1
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 85.0	41.5	126.5	－
ＲＯＥ（%）	△6.0	3.0	9.0	－
ＲＯＩＣ（%）	2.4	4.8	2.4	103.1

２.セグメント別連結売上高

（単位：億円）

	’24年3月期		’25年3月期		前期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	458.9	28.8	306.8	21.6	△152.1	△33.2
石油・輸送機産業関連	504.7	31.6	492.3	34.5	△12.4	△2.5
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・繊維産業関連	252.3	15.8	268.3	18.9	16.0	6.4
情報・電気電子産業関連	228.7	14.3	209.1	14.7	△19.5	△8.6
環境・住設産業関連他	150.3	9.5	145.9	10.3	△4.3	△2.9
合計	1,595.1	100.0	1,422.5	100.0	△172.5	△10.8

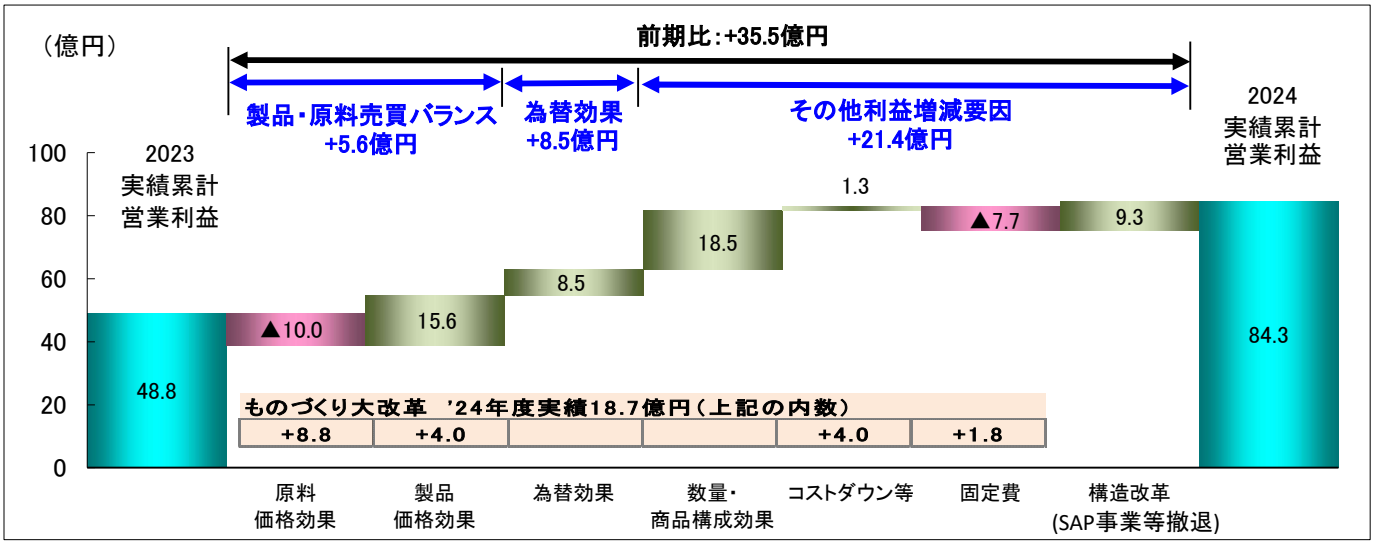
３.セグメント別連結営業利益

（単位：億円）

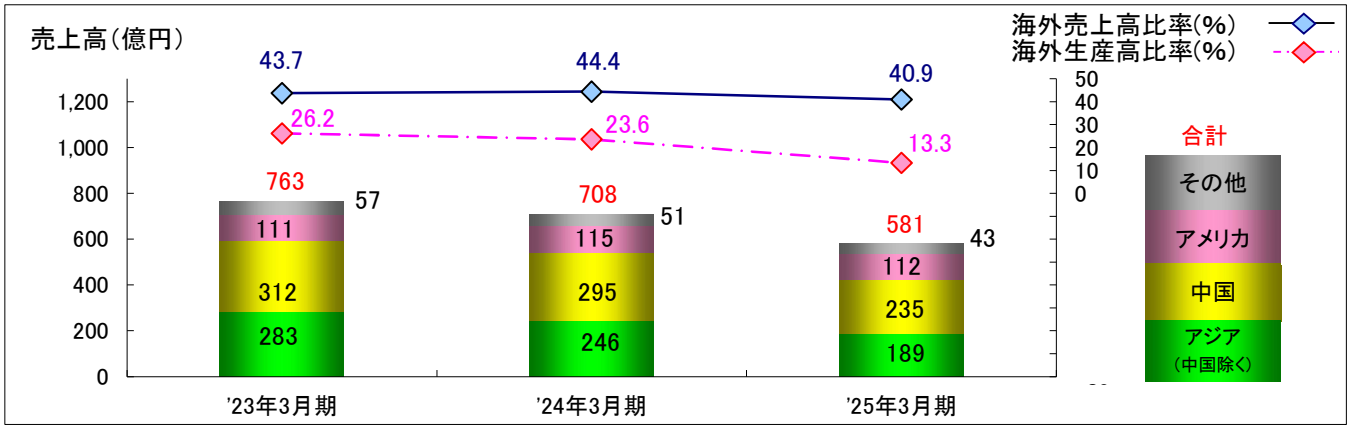
	’24年3月期	’25年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	△14.2	1.7	15.9	－
石油・輸送機産業関連	28.1	39.7	11.6	41.2
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・繊維産業関連	23.6	28.6	4.9	21.1
情報・電気電子産業関連	18.3	25.3	7.0	38.3
環境・住設産業関連他	5.3	0.0	△5.3	△99.2
全社費用（※）	△12.5	△11.2	1.2	－
合計	48.8	84.3	35.5	72.7

※全社費用は、各報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費です。

４．連結営業利益の増減分析（前期比）



５．連結海外売上高の推移



６．配当の状況

２０２５年３月期の期末配当につきましては、１株当たり８５円（年間１７０円）とする予定であります。
次期の中間配当ならびに期末配当につきましては、１株当たりそれぞれ８５円（年間１７０円）を予定しております。

	１株当たり配当金（円）			配当性向（連結）
	中間	期末	年間	
２０２２年３月期	８５．０	８５．０	１７０．０	５６．０％
２０２３年３月期	８５．０	８５．０	１７０．０	６６．０％
２０２４年３月期	８５．０	８５．０	１７０．０	－
２０２５年３月期	８５．０	８５．０	１７０．０	９０．５％
２０２６年３月期（予想）	８５．０	８５．０	１７０．０	４７．０％

７．２０２６年３月期業績予想（連結）

２０２６年３月期の連結業績については、事業構造改革に伴う増益ならびに高付加価値製品の拡販等により連結売上高１，３００億円、営業利益１００億円、経常利益１１０億円、親会社株主に帰属する当期純利益８０億円を予想しております。

（単位：億円）

	’26年3月期	前期比	
		増減	伸び率(%)
売上高	１，３００	△　１２２	△　８．６
営業利益	１００	１５	１８．５
営業利益率（%）	７．７%	1.8ﾎﾟｲﾝﾄ	３０．５
経常利益	１１０	１３	１３．８
親会社株主に帰属する当期純利益	８０	３８	９２．７
ＲＯＥ（%）	５．８%	2.8ﾎﾟｲﾝﾄ	９３．３
ＲＯＩＣ（%）	５．６%	0.8ﾎﾟｲﾝﾄ	１６．７

〈業績予想の前提条件〉　為替レート：１４０円/＄、国産ナフサ価格：６５千円/KL

８．主な設備投資と減価償却費

（１）設備投資額（検収ベース）、減価償却費の推移

（単位：億円）

	連　結	
	’25年3月期	’26年3月期（予定）
設備投資額	６６	８７
減価償却費	９５	８７

（２）主な設備投資（検収ベース）

（単位:億円）

投資アイテム		稼働時期	総投資額	’25年3月期	’26年3月期	’27年3月期以降
三洋化成工業株式会社	微生物発酵・精製設備	2025年10月	4	－	4	－